

輪

August 2021
vol. 82

Kitakyushu Municipal Medical Center Communication Paper

ご自由に
お持ち
ください

2023年、北九州市立医療センターは
誕生150周年を迎えます。

15th
市民とともに
Since 1873
2023 ANNIVERSARY

がん特集

外来化学療法センター

FOCUS

臨床研究推進センターの 設置について

写真提供：北九州市(くきのうみ花火の祭典)



地方独立行政法人 北九州市立病院機構

北九州市立医療センター

TOPICS 北九州市立医療センター開設30周年回想記



北九州市立医療センター
参与 光山 昌珠

2021年7月北九州市立医療センターは開設30周年を迎えました。1963年に5市合併し北九州市立小倉病院となりましたが、1968年九州で初めて附設された「がんセンター」施設(現、管理棟)以外は老朽化が著しく、大部屋と称されたドアのない、カーテン1枚で仕切られた6人部屋など劣悪な療養環境でした。その中で現地建て替え建設が決定され、仮設外来など数多くの不便さにもかかわらず、職員一同昼夜を問わず診療に邁進しました。1991年3月本館完成に合わせ、北九州市立病院群(旧5市の市立病院と結核療養所の松寿園)の中核とな

り、最高の適正な医療を市民に提供する総合基幹病院としての役割を担うべく名称を同年7月北九州市立医療センターと改称しました。最新の診療録自動配送装置も導入されましたが不都合が多く廃止されました。1992年には感染症棟を併設し、第二種感染症指定医療機関として今日の新型コロナ感染症治療の礎となり、その役割を十二分に果たしています。2001年には別館が完成し緩和ケア病棟も開設され、2009年市民公開講座、2011年地域医療従事者研修会を発足させ、患者さん、地域の先生方と情報を共有し、安全安心の質の高い医療

に取り組んでいます。2023年は当院前身の企救郡立小倉医学校兼病院開設より150年の節目となりますが、医療の中長期的な視点に基づく再度建て替えの建設計画が発表されることを切に願っています。



北九州市立小倉病院石碑

標榜診療科一覧

内科	精神科	内分泌・糖尿病内科	乳腺外科	胆のう外科	リハビリテーション科	皮膚科	放射線科
肝臓内科	呼吸器内科	緩和ケア内科	内分泌外科	瞬臓外科	脳神経外科	泌尿器科	病理診断科
血液内科	消化器内科	小児科	大腸外科	食道外科	呼吸器外科	産婦人科	麻酔科
感染症内科	循環器内科	外科	肛門外科	胃腸外科	心臓血管外科	眼科	歯科
心療内科	腫瘍内科	消化器外科	肝臓外科	整形外科	小児外科	耳鼻咽喉科	

《基本理念》

わたくたちは公共的使命を自覚し
心のこもった最高最良の医療を提供します

《基本方針》

1. 患者さんの権利 個人情報保護し
患者さんの立場に立った医療を行います
2. 十分な説明と同意による信頼関係のもとに
患者さんが満足できる医療を行います
3. 安心かつ安らぎが得られる質の高い医療をめざし
安全管理を徹底します
4. 常に研鑽して最高水準の医療知識・技術を習得し
あわせて温かい心を持つ医療人をめざします
5. 地域における役割を自覚し
地域の医療機関とともにその責務を果たします
6. 合理的かつ効率的な病院経営に努めます

今号から編集を担当することになりました。私は落語が大好きです。今はコロナで叶いませんが、東京での学会に参加すると、時間を見つけて浅草や新宿の寄席に行っておりました。色々な落語家さんたちが趣向を凝らして楽しませてくれて、短い時間でも、ああ、来てよかったと笑顔で帰っていました。

この「輪」も、多くの方々に読んでよかったと思っただけのような誌面を目指しています。ご意見がありましたらお聴かせください。よろしく願っています。

広報誌「輪」編集長 高島 健



地方独立行政法人 北九州市立病院機構
北九州市立医療センター

〒802-8561 北九州市小倉北区馬借2丁目1番1号
TEL.093-541-1831(代表)
FAX.093-533-8693
https://www.kitakyu-cho.jp/center/
◎発行日：2021年8月1日



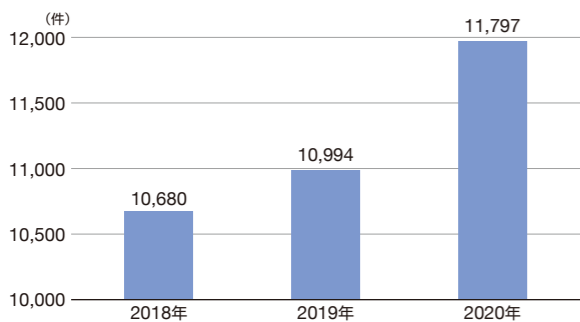
ホームページ フェイスブック インスタグラム

※本紙では撮影用にマスクを外しています。

外来化学療法センター



■表1：抗がん薬のみの年間治療件数の推移



や治療時間の短縮により件数の増加が期待されます(表1)。

さて、なぜ外来で化学療法を行うのでしょうか？

当センターで初回治療を行う方に化学療法の印象をお聞きすると、「おう吐して体力が落ち家事や仕事もできなくなる」などの返答があります。2000年代前半までは入院治療で化学療法を行うことが一般的でした。それは、皆さんの返答のように化学療法後に自宅で過ごすことが難しい状態になることもあり、安全・安心して治療を遂行するために必要でした。しかし、吐き気止めや発熱時の対応法など、抗がん薬治療時の副作用対策方法も進歩したことで、以前は治療後におう吐がみられた治療法も、悪心(吐き気)を自覚する程で軽いものなら食事がとれるくらいまで改善がみられるようになりました。そして、「がん」と診断されるまでに築きあげてきた生活スタイル(仕事や家族との団らんなど)を大きく変えることなく過ごすことができるようになりました。

最近では、抗がん薬による副作用だけでなく、生活の質(QOL: Quality of Life)を維持し、さらに、抗がん治療を継続しながら日常生活を過ごすための

サポートを研究する学会(日本がんサポーターズケア学会)も発足しました。

ここでは、抗がん治療中のリハビリテーションや、就業支援(抗がん治療中の方と雇用元との連携)、妊孕性温存(がん発症患者における治療後の生殖能力温存治療)、アピランスケア(抗がん治療による外見の変化に起因する苦痛を軽減するケアをどうするか)についてなど、ターゲットを「がん」のみでなく、患者さん自身や周辺環境に目を向けて考えることを目的とされています。これは、個々の患者さんに対する抗がん治療を医師・看護師・薬剤師のみでなく、リハビリテーションや医療ソーシャルワーカーなどの各専門職で考え治療を進めていくことで身体的・社会的なQOLを高めて元気に抗がん治療に臨んでいただけることを目的としています。当センターでも、各スタッフが、患者さんの気持ちを感じとりながら、必要に応じて専門職につなげられるよう心がけています。

この広報誌の題名が「輪」であるように、当センターはチームです。何か不安や心配があれば訴えてください。そして、うれしいことがあれば私たちに話してください。

「輪」を手にとられた皆さん、こんにちは。「外来化学療法センター」について紹介します。

当センターは、本館4階南病棟にあり、緩和ケアセンターとがんゲノムセンターも併設されています。そのため、昔から通院されている方であっても、ご存知でない方もいらっしゃると思います。現在、専従医師1名、専任看護師1名、所属看護師8名、専任薬剤師3名、専任管理栄養士1名が在籍し、外来抗がん薬治療患者さんの対応をしています。

当センターは、2008年7月1日に20床のベッドと7名のスタッフ(専任医師1名、看護師6名)でスタートし、本年7月1日で14年目に入りました。

抗がん薬治療は、日進月歩で進歩しており年々増加していることに加え、2014年からは、関節リウマチなどの自己免疫疾患で使用される生物学的製剤も外来化学療法の対象とされ、当センターの必要度は増してきました。

最近では、年間総治療件数が1万件を超えるようになり、2020年は12,723件の外来治療(がん薬物療法:11,583件、生物学的製剤:1,140件)を行いました。ここ数年間の外来化学療法室使用件数は右肩上がりに増加し、今後も治療法の開発



腫瘍内科／がんゲノム外来／外来化学療法センター

主任部長

さとう えい いち
佐藤 栄一

当院の腫瘍内科主任部長。外来化学療法センターでの化学療法や、2019年に開設したがんゲノム外来におけるがんゲノム担当医師として勤務。外来化学療法センターでは、看護師・薬剤師・管理栄養士など各分野の専門スタッフとチームで診療を行っている。趣味は子育てと料理。
日本臨床腫瘍学会/日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医

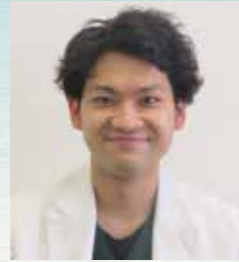


2021年度より着任いたしました。
よろしくお願いいたします。

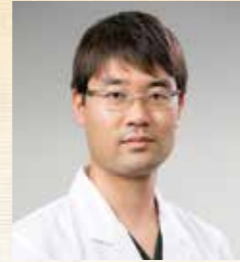
新任 医師紹介



病理診断科
北原 大地



産婦人科
遠矢 雅人



泌尿器科
中村 友哉



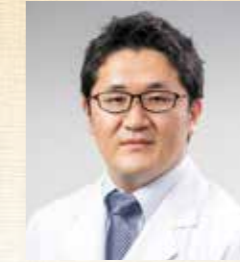
整形外科
金江 剛



乳腺・甲状腺外科
中本 充洋



循環器内科
渋谷 優介



消化器内科、胃腸内科 主任部長
隅田 頼信



総合診療科・感染症内科
三雲 大功



病理診断科
柿木園 歩美



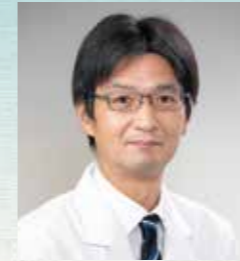
産婦人科
眞鍋 有紀子



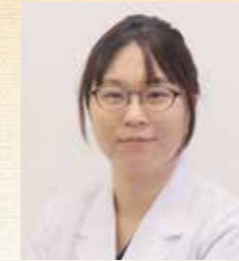
泌尿器科
和田 大和



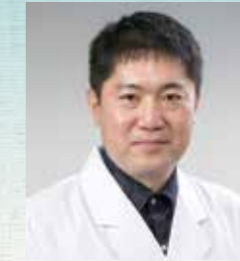
呼吸器外科
山口 正史



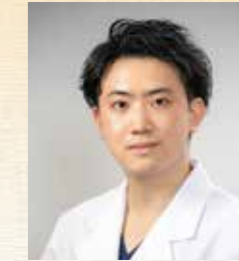
肝・胆・膵外科
伊達 健治朗



小児科、新生児科
渡辺 ゆか



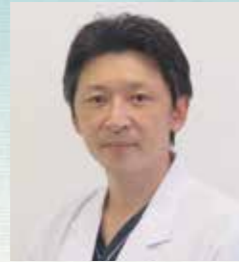
胆・膵内科
新名 雄介



総合診療科・感染症内科
中村 綸杜



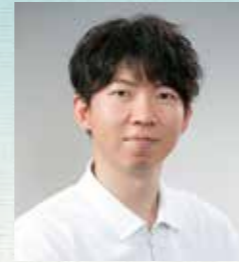
麻酔科
原賀 勇壮



放射線科、放射線診断科 主任部長
久保 雄一郎



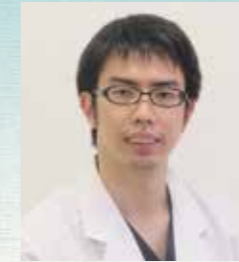
産婦人科
田中 久美子



呼吸器外科
松原 太一



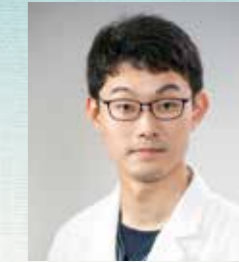
外科
是枝 侑希



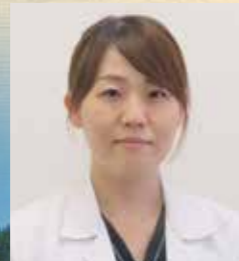
小児科、新生児科
明 祐也



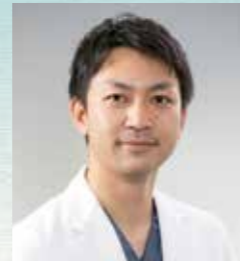
消化器内科、胃腸内科
松口 崇央



内分泌代謝・糖尿病内科
小笠原 諒



放射線科、放射線診断科
岩政 理花



産婦人科
井町 佑三



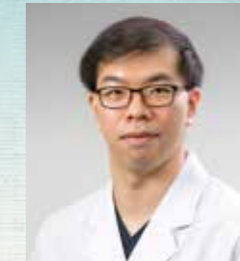
小児外科
大森 淳子



外科
小佐井 孝彰



食道・胃外科 主任部長
小林 毅一郎



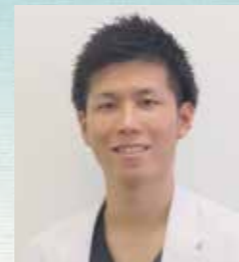
消化器内科、胃腸内科
前原 浩亮



呼吸器内科
迫田 宗一郎



産婦人科
田口 裕樹



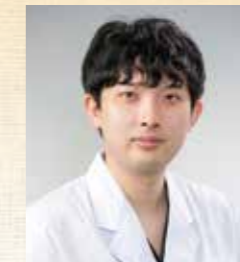
皮膚科
河村 耕治



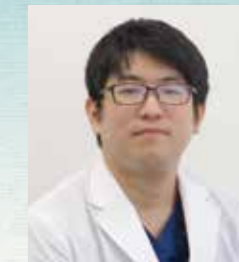
整形外科
前田 向陽



大腸・骨盤外科
永井 俊太郎



消化器内科、胃腸内科
平山 雅大



呼吸器内科
中島 紀将

臨床研究推進センターの設置について



理事長・臨床研究推進センター長 中西 洋一

医学は日々大きな発達を遂げています。C型肝炎に対する特効薬や画期的ながん免疫治療薬の登場、ゲノム医療の発展、ロボット手術の進歩などが好例です。医療センターではこれらの新規医療技術を積極的に取り入れてきました。それでも今回のコロナ禍で明らかになったように開拓すべき医療分野は無数にあります。

では、最新医療や最適医療はどうやって医療の現場に届けられるのでしょうか。これらは、基礎的な研究から始まり、動物実験等を経て、最後に人に対しても安全で有効であることを確認して、初めて医療の現場に届けられます。この最終段階にあたるものが「臨床研究」で、きわめて厳格な法律や倫理指針の下に実施することが定められています。

最高の医療を提供することに加え、明日の医療を創ることも当院の大きな使命です。現在もコロナ感染症の新規治療法開発を目指した研究をはじめ、多くの臨床研究を実施しています。このたび、より適切に厳正に積極的に臨床研究を実施するために「臨床研究推進センター」を設置しました。皆さまとともに明日の医療を創ることができれば幸いです。



臨床研究推進センタースタッフ



歯科医師 國領 真也

当院の歯科では「周術期口腔機能管理」に特化した診療を行っております。「周術期等口腔機能管理」は、平

成24年がん対策基本法が国の取り組みとして始まり、がんの治療前から適切な口腔ケアを行うことが、感染リスクの低減や口腔粘膜炎の

予防に繋がるとされています。入院中に口腔細菌を徹底的に除去し、清潔な口腔内環境を維持していくことが、身体の治療の妨げとなる口腔粘膜炎、歯肉の腫れ、口腔乾燥や誤嚥性肺炎等の予防に重要となります。がん治療を担当する医師は、歯科へ、手術や放射線治療、化学療法等の治療開始前の歯科受診の依頼をします。歯科医師は、早期に患者さんの口腔機能管理に介入することができます。その結果、患者さんは必要な歯科治療を受ける事が可能となり、入院中の口腔内のトラブルの予防や早期退院、QOLの維持向上に繋がります。当院は、退院後、歯科治療や口腔機能管理の継続が必要な場合、患者さんがかかりつけの歯科やご自宅近くの歯科へお繋ぎする「地域歯科医療連携」の体制も整えております。入院治療中にも、お口に関する心配事があればご相談ください。

診療科紹介

歯科・口腔ケア外科

口腔ケア外来

歯科衛生士は、患者さんが入院中や病気の治療中に、誤嚥性肺炎や口腔粘膜炎等を患うことがないよう口腔環境を改善していく処置や、口腔内を清潔に保てるように患者さんのセルフケアのお手伝いをしてまいります。もし、口内炎等の口腔の痛みが出た場合でも、痛みの緩和を図りながら口腔ケアを実施しております。患者さんに口腔の心配ごとを何でも相談していただけて、癒される歯科診療室になるよう努めてまいります。



▲患者さんと一緒にお口の中を確認中
「痛むところはありませんか?」



誤嚥性肺炎や歯肉の腫れ、痛み等の原因にもなる「歯垢や歯石」を丁寧に除去、回収していきます▶

選 定 療 養 費

1 初診時選定療養費

患者さんが紹介状を持参せずに当院で初診で受診される場合に、通常の医療費の他に別途ご負担いただく費用です。

医科5,500円(税込)

歯科3,300円(税込)

2 再診時選定療養費

当院では治療により病状が安定した患者さんにつきましては、他の医療機関に紹介を行っておりますが、患者さんご自身の判断で引き続き当院を受診される場合に、通常の診療費の他に別途ご負担いただく費用です。

医科2,750円(税込)

歯科1,650円(税込)

※受診の都度ご負担いただきます。

ご不明な点がございましたら、医事係までお問い合わせください。

お気軽に
お尋ねください。



初診受付



初診受付スタッフ

知って得する“病院のかかり方”

選定療養費について

2016年4月の診療報酬等改定により、「初期の治療は地域の医院・診療所(かかりつけ医)で、高度・専門治療は病院で行う」という医療機関相互の役割分担および業務連携の推進を目的として、厚生労働省により制定された制度です。このような目的を踏まえ、他の医療機関等の紹介状なしに受診する場合は、原則として、初診時または再診時に診療費とは別に選定療養費を患者さんにご負担いただくこととなります。

- ・公費負担医療制度を利用している場合
 - ・救急車で来院し、外来を受診する場合
 - ・通院中で新たな診療科を受診する場合
 - ・労働災害、公務災害で受診する場合
 - ・その他、医療機関が直接受診を必要とする場合等
- 地域のクリニックでかかりつけ医を持ち、必要時に紹介状を持って受診してください。健診で要精密となった場合でも、紹介状と同じ扱いとなります。

ドクター

熱中症対策

熱中症

熱中症とは、暑熱環境に対する

適応反応の障害によって生じる状態の総称です。

有村 賢一 ありむら けんいち

救急科/循環器内科 主任部長



※熱中症診療ガイドライン2015より改変

	症状	重症度	臨床症状分類
I度 (応急処置と見守り)	めまい、立ちくらみ、生あくび、大量発汗 筋肉痛、筋肉硬直(こむら返り) 意識障害なし	軽症	熱失神 熱けいれん
II度 (医療機関)	頭痛、おう吐 倦怠感、虚脱感 集中力・判断力の低下	中等症	熱疲労
III度 (入院加療)	中枢神経症状(意識障害、けいれん発作) 肝・腎機能障害 血液凝固異常	重症	熱射病

- 熱失神： 通常体温上昇なし。→ 涼しい環境と仰臥位で回復
- 熱けいれん： 通常体温上昇なし。骨格筋の痛みを伴う収縮(足がつるなど) → 涼しい環境と安静、塩分を含む補液(経口もしくは点滴)
- 熱疲労： 体温は正常から40℃未満
非特異的の症状(めまい、脱力感、易疲労感、悪心、頭痛)で失神や低血圧、頻脈など → 涼しい環境と安静、生理食塩水などの点滴
- 熱射病： 高体温(40.5℃以上)、意識障害、発汗停止(古典的三徴) → 救急搬送

5つの予防のポイント



- 1 「水分」をこまめにとる
のどがかわいていなくても、こまめに水分をとりましょう。
〈ただし市販のスポーツドリンクは糖分多いことに注意しましょう〉
- 2 「塩分」をほどよくとる
毎日の食事を通してほどよく塩分をとりましょう。〈かかりつけ医から制限がある場合は、指示に従いましょう〉
- 3 「睡眠環境」を快適に保つ
通気性・吸水性の良い寝具、エアコンや扇風機を使用し、睡眠環境を整えましょう。
- 4 「マスク」をはずす
屋外で人と十分な距離(2メートル以上)を確保できる場合はマスクをはずしましょう。マスクを着用している時は負荷のかかる作業や運動を避けましょう。
- 5 「丈夫な体」をつくらう
バランスよい食事、しっかりとれた睡眠で丈夫な体をつくり、体調管理しましょう。

暑さ指数(WBGT: Wet Bulb Globe Temperature)による情報収集 → 熱中症予防情報サイト(環境省) <https://www.wbgt.env.go.jp/>
7月から8月にかけては、広い範囲で「厳重警戒」ランクになる見込みです。9月は、全域で「警戒」ランクになるでしょう。

連携病院のご紹介

社会福祉法人小倉新栄会

新栄会病院

所在地 北九州市小倉北区弁天町12-11
(JR日豊本線南小倉駅前)

電話番号 093-571-0086

診療科目 内科、循環器内科、腎臓内科、
消化器内科、皮膚科、整形外科、眼科、
放射線科、リハビリテーション科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
8:50~12:30	○	○	○	○	○	○	×

受付時間は診療終了時間30分前までとなっております。



院長 永田 雅治 先生



貴院のご紹介をお願いします

当院は小倉北区JR南小倉駅のすぐ近くにあり、昭和21年に開設されました。地域包括ケア病床20床、医療療養病床85床、介護医療院60療養床(計165床)を有し、常勤医師7名体制で回復期・慢性期医療を提供しています。また社会福祉法人小倉新栄会の一員である当院は無料低額診療事業も行っておりますので、経済的理由でお困りの方はお気軽にご相談ください。

地域の方、患者さんへメッセージをお願いします

社会福祉法人小倉新栄会は、新栄会病院のほかにも特別養護老人ホーム「新栄きよみずの杜」や軽費老人ホーム「ケアハウス小倉」、デイサービス(2施設)、居宅介護支援事業所、保育園(3施設)を運営しています。これからも地域にお住いの「困っている方」のお力になれるよう、法人全体で尽力して参りますので、お困りの際は当法人に是非お声かけください。

医療連携室だより

医療連携室は、2021年4月より患者支援センターと組織統合しました。

従来の前方連携・後方連携業務にベッドコントロールと多職種が関わる入退院支援業務を統合して、外来受診から入院、退院後までの医療・療養を一貫してサポートする部門になりました。

入退院支援部門では、予定入院の患者情報を入院前に把握し、問題解決に向けて医師・看護師・MSW・薬剤師等コメディカルと事務職員が協議し、退院後も患者

さんが住み慣れた地域で、必要とする医療を安心して受けとることができるよう支援していきます。

また、医療連携部門は、前方連携業務として紹介患者をスムーズに受け入れるための調整や地域医療機関との連携窓口としての役割に取り組んでいます。

今後も、がん治療、周産期母子医療、生活習慣病等の医療提供と地域医療支援病院としての役割が果たせるよう努力していきたいと思っております。



【お問合せ先】医療連携室 TEL 093-533-8660 受付時間：8:30~17:00
予約時間：8:30~18:30



医療法人みどりヶ丘クリニック

所在地 北九州市小倉北区日明2丁目17-15

電話番号 093-583-0303

診療科目 内科、小児科、麻酔科、肛門外科、救急科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	×
14:30~18:15	○	○	○	×	○	×	×

※木曜日、土曜日は午前のみ ※急患受付いたします。



お願い申し上げます。

に頑張っております！

Q 市立医療センターへのメッセージをお願いします

A 前院長の北川先生時代より、いつも迅速で的確なサポートを提供していただきありがとうございます。引き続き、地域医療の一端を担うことができますよう誠心誠意努めてまいりますので、今後も変わらぬ御高配、御愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

Q 貴院のアピールポイントを教えてください

A 平成4年に日明の地で産声をあげた「きたがわ内科小児科クリニック」は、周辺の医療機関の皆さまの支えもあり、28年間地域医療の一端を担ってまいりました。



院長 原 隼哲 先生

登録医のご紹介

医療法人 徳力団地診療所

所在地 北九州市小倉南区徳力団地2番10号

電話番号 093-961-3774

診療科目 内科・小児科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	往診優先	○	○	×
15:00~18:00	○	○	○	往診優先	○	×	×

※平日15時まで(火曜は16時まで)は訪問診療(院長)



Q 貴院のアピールポイントを教えてください

A 徳力団地診療所は、団地の一角にあつて地域を支える日常診療はもとより、在宅患者さんや併設する特別養護老人ホーム「とくりき春吉園」をはじめとする各種の介護施設の訪問診療にも力を注いでいます。小倉南区西部(三谷地区を含む)のエリア内で広く在宅医療を行っています。

Q 市立医療センターへのメッセージをお願いします

A お近くの患者さんには地域の医院・病院と連携した診療を心がけていますので、診療科や病気の種類を問わずお気軽にご相談ください。また体ご不自由になり外出が困難になつても、家や介護施設での療養がスムーズに続けられるような在宅医療を提供します。



院長 山家 滋 先生(右から2番目)